

8月号

# みらいふからのラブレター

暮らしの豆知識をお届けする  
保険キャッチ・Eye\_2108

## 郵便創業 150 年、最近手紙書いてますか？

### 険太くん、手紙を受け取る

ある日の昼下がり、険太くんの足は今  
日も近所の空き地に向かいます。近在の  
ネコを集めた井戸端会議で議長を務める  
ネコっちに会うためです。

「やあネコっち、最近うれしいことがあ  
ってさ。転校した友達から手紙が届いた  
んだ。たまにメールするくらいだったけ  
ど、手紙ってなんか特別な気がして、こん  
なにうれしいものなんだね」

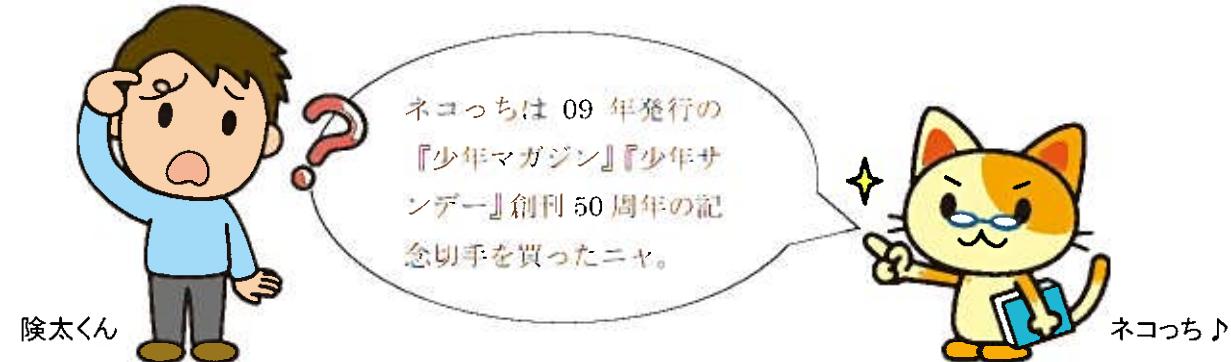
「そうだね。瞬時にコミュニケーション  
が取れる時代だからこそ、便箋に手書き  
して、封筒に収めて、糊付けして、切手を  
貼って投函する。その手間が人の心に明  
かりを灯すんだろうね」

「うん。ボクもそう思う」

「ところで険太くん、今年は日本の郵便  
事業が始まって 150 年の記念すべき年な  
んだニヤ」

「150 年って歴史が長いようで、意外と短  
くない？」

「険太くんの言う通りだニヤ」



### ネコっちのお話⇒『それぞれの制度には根本となる哲学があるニヤ』

150 年というのは、日本に近代郵便が設立されてからの年月だよ。それ以前に  
も日本に郵便制度はあったんだ。飛脚って険太くんも聞いたことあるだろ。でも  
飛脚は日数も掛かったし、値段も高かったんだ。江戸→大阪間を丸 2 日（廉価便  
は 8~9 日）で届ける仕立（チャーター便）は約 140 万円も掛かったらしいよ。  
その制度を「安くて速い」ものに変革させたのが、明治政府ができるから 4 年後  
の今から 150 年前のことだったんだね。安く・速くの考え方方が今も生きているの  
はすごいね。今年の 10 月には「国際文通週間」ほか 3 種の切手が発行されるか  
らこの機会に注目してほしんだ。保険制度も長い歴史があるけど、そこには安く  
て安心の考え方があるよ。自分なりの安心を是非手に入れてほしいんだニヤ。

★保険に関しての疑  
問は、些細と思われ  
ることでもご遠慮な  
くお電話ください。

株式会社みらいふ

住所：京都市右京区西京極牛塚町 30

TEL : 075-863-0808 FAX : 075-863-0809

Mail : news@k-milife.co.jp

